

高精度放射線治療室



トモセラピー Radixact

体の外から 照射する治療法

専用CTの情報をコンピュータ解析し、
治療計画を立ててから治療を行います。

Radixactとは、CTスキャナと放射線治療器の統合的プラットフォームという概念にて開発された最新の放射線治療システムです。二種類の照射方法を駆使し、標準的な放射線治療に加え、複雑な症例の治療も対応可能です。

○腫瘍に局限した治療が可能

高速開閉可能なバイナリーMLCにより、
リスク臓器を避け、腫瘍に集中した治療が可能です。

○開放的なハードウェアコンセプト

圧迫感の少ないリング型ガントリで、
安心して治療を受けていただけます。

○的確な腫瘍位置確認

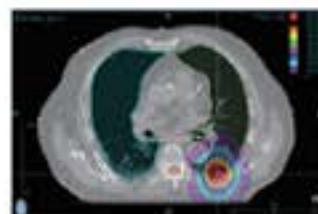
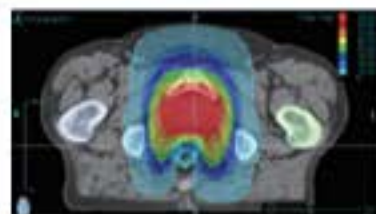
治療毎に位置決め用CTを撮影することで、
腫瘍位置を的確に捉えます。また患者様にも安心の低被ばくです。

○広範囲を同時に治療可能

寝台を動かすことにより複数の腫瘍を一度のセットアップで治療
可能です。最大で40cm × 135cmの広い範囲をカバーします。

対象となる主な疾患

悪性腫瘍 ※原発性・転移性問わず
(前立腺がん、頭頸部がん、乳がん、脳腫瘍、肺がん、肝臓がん、
食道がん、悪性リンパ腫、骨腫瘍等)



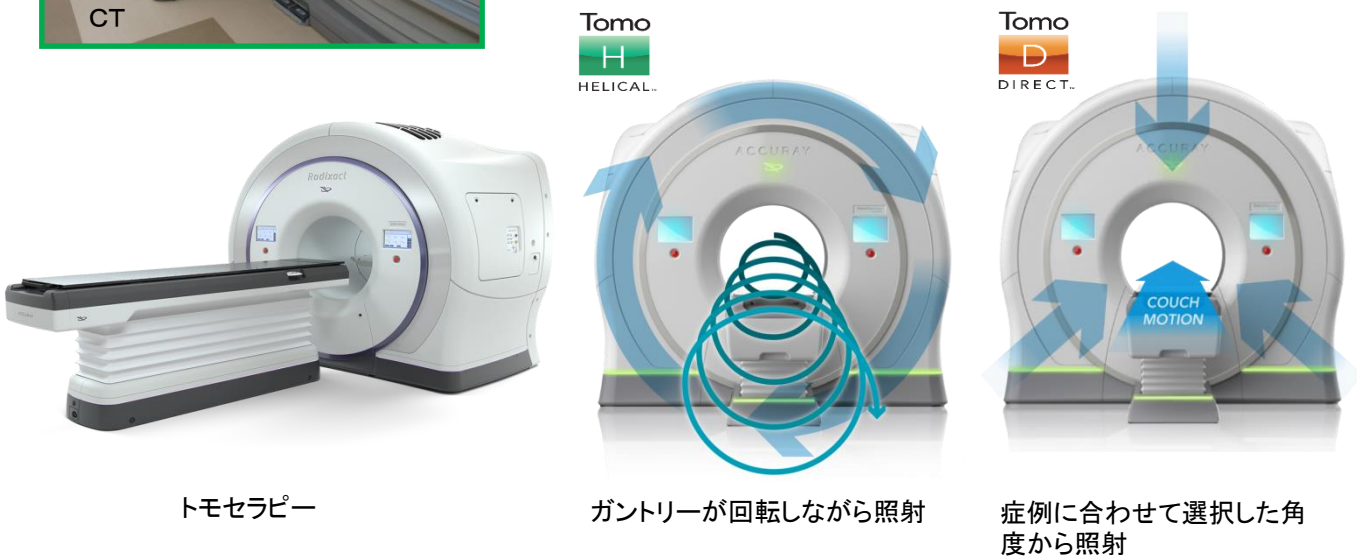
放射線治療(トモセラピー)について

放射線治療とは、放射線感受性が正常細胞より腫瘍細胞の方が高いことを利用して、正常組織に影響を出さずに腫瘍組織のみ死滅させる治療法です。外科的手術のように組織を欠損することが無く、形態や機能を保持したまま治療できることが特徴ですが、腫瘍細胞の種類によって放射線がよく効く物と、そうでない物があるので、放射線治療については、放射線専門医に御相談ください。

トモセラピーは体の外から高エネルギーのX線を照射して治療を行います。



CTの情報をコンピュータ解析し、治療計画を立ててから、治療が行われます。



トモセラピー

ガントリーが回転しながら照射

症例に合わせて選択した角度から照射

治療の流れ

1. 診察

紹介状を確認し診察を行い、トモセラピーによる放射線治療が可能かどうか判断します。また、追加の検査を行う場合があります。

2. 治療計画

治療計画用のCT、MRI等の撮影を行います。治療部位により専用の固定具を作成する場合があります。このとき体に治療時の目安となる印を記入いたします。また治療の日程を決めます。(検証のため、数日かかります。)

3. 放射線治療

治療範囲を確認するためのCT撮影を行い、位置を正確に合わせたのち、実際に放射線を照射していきます。一回の治療時間はおおむね20分程度です。体の負担を減らすため複数回に分けて治療します。

4. 照射中・後の診察

放射線治療中にも診察を行い副作用の確認をしながら治療を進めていきます。治療終了後も同様に治療効果・副作用を確認するため定期検査による経過観察をいたします。